

将来人口の推計について

平成 22 年 8 月
高根沢町総務課

1 将来人口推計の概要

高根沢町地域経営計画後期計画（仮称）の策定にあたり、まちの将来像を具体化するために、最も一般的な人口推計手法である「コーホート変化率法」（※）を採用し、将来人口を推計しました。

※同年に出生した集団（コーホート）の年間の変化率（生存率と移動率が一体となった率）、出生率、出生性比を用い、その値が将来にわたって継続するものと仮定して人口推計を行う手法です。

2 将来人口推計の考え方

（1）基準日・基準人口

平成 22 年 4 月 1 日の住民基本台帳人口と外国人登録人口の合計を使用しました。

（2）コーホート変化率

平成 17 年（2005 年）から平成 22 年（2010 年）までの住民基本台帳人口から、各年における男女別、各歳別の変化率を求めて 5 年間の平均値を算出しました。

（3）各歳別出生率

国立社会保障・人口問題研究所が示した「日本の将来推計人口（H18.12 推計）」の各歳別出生率を利用し、国の合計特殊出生率（※）1.26 を高根沢町の合計特殊出生率 1.54 に比準させ、高根沢町の各歳別出生率に換算しました。

※女性の年齢別出生率を 15 歳～49 歳にわたって合計して得られる出生力の指標で、その値は一人の女性が、その年齢出生率にしたがって子どもを産んだ場合に、生涯に産む子ども数として解釈されます。

（4）出生性比

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口（H18.12 推計）」に使用されている値をもとに、出生性比を男性 105.4：女性 100.0 の割合としました。

3 将来人口の推計結果

上記の条件に基づき、本町の将来人口を推計した結果は、【表1】、【表2】のとおりとなりました。

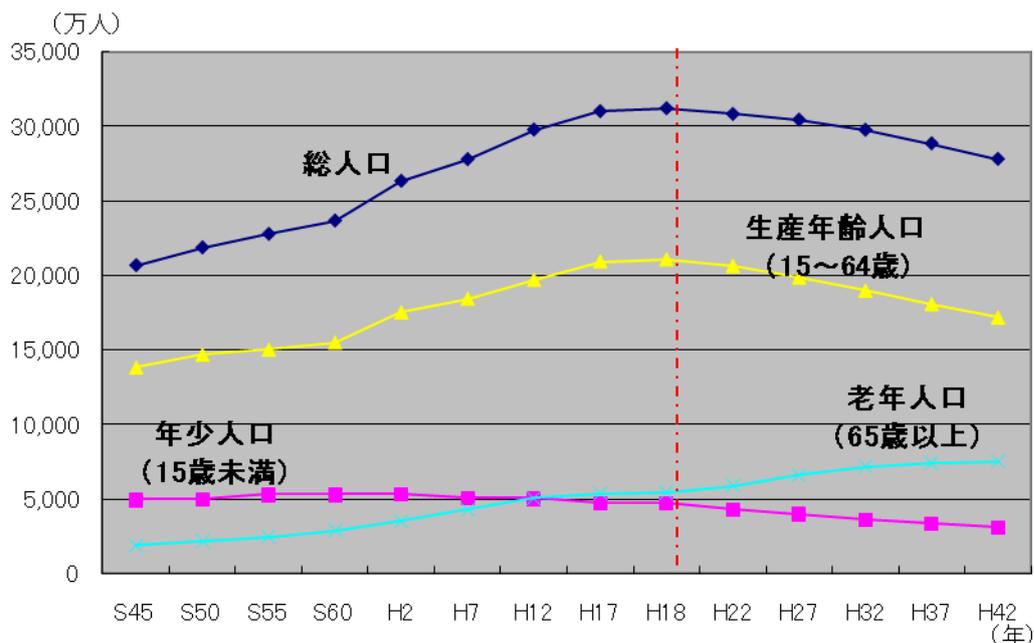
平成27年（2015年）の人口は30,439人で、基準日人口の▲1.24%（▲383人）となり、平成32年（2020年）には人口29,762人で、基準日人口の▲3.44%（▲1,060人）となると推計しました。

本町においては平成19年（2007年）に、初めて人口が減少に転じたところですが、現時点における人口推計によると、平成23年（2011年）以降も、**毎年約100人の規模で、微減が続く**という結果となりました。

【表1】

	H22 (基準年)	H27	H32	H37	H42
人口総計	30,822	30,439	29,762	28,849	27,805
14歳以下	4,292	3,971	3,614	3,347	3,099
15-64歳	20,615	19,851	18,959	18,076	17,180
65歳以上	5,915	6,617	7,189	7,426	7,526
構成比					
14歳以下	13.9%	13.1%	12.1%	11.6%	11.1%
15-64歳	66.9%	65.2%	63.7%	62.7%	61.8%
65歳以上	19.2%	21.7%	24.2%	25.7%	27.1%

【表2】



平成 22 年（2010 年）までの本町の人口増減を変動要因別でみると、【表 3】、【表 4】のとおりとなりました。

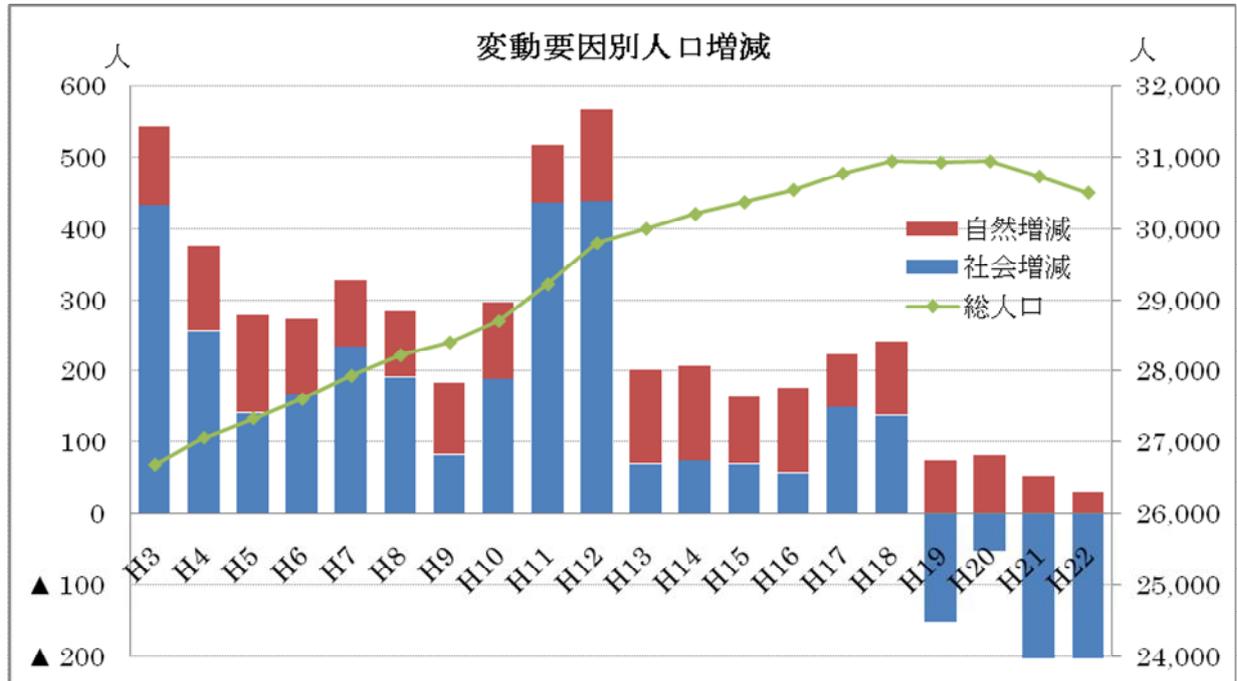
社会増減、自然増減ともに、これまで一貫して増の状況が続いていましたが、人口が減少に転じた平成 19 年（2007 年）に初めて、社会増減が減少に転じています。転出者数が平成 19 年（2007 年）以降、急増したという状況です。

【表 3】

	人口	前年比	転入者数	転出者数	社会増減(A)	出生者数	死亡者数	自然増減(B)	計(A+B)
H17	30,770	230	1,568	1,418	150	317	244	73	223
H18	30,943	173	1,600	1,461	139	362	260	102	241
H19	30,926	▲17	1,402	1,554	▲152	315	241	74	▲78
H20	30,941	15	1,497	1,549	▲52	332	250	82	30
H21	30,729	▲212	1,381	1,651	▲270	326	273	53	▲217
H22	30,502	▲227	1,265	1,525	▲260	287	258	29	▲231

※住民基本台帳年報

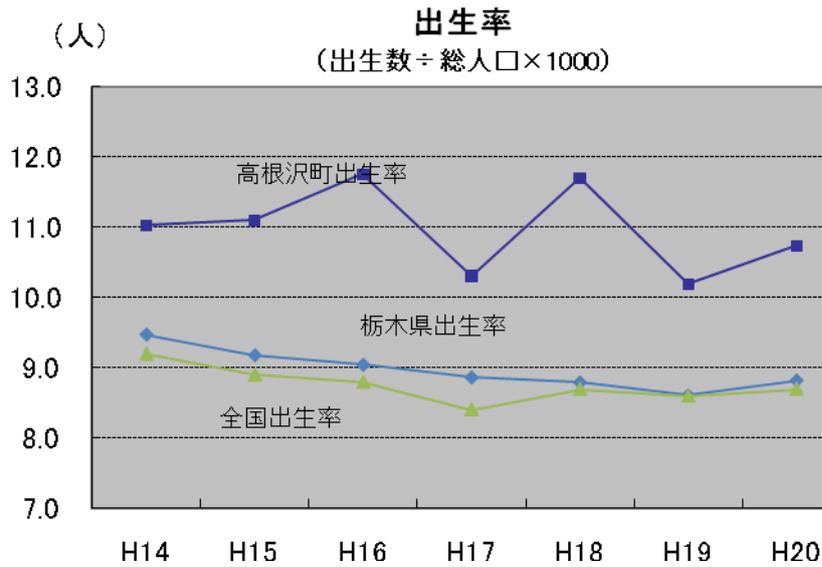
【表 4】



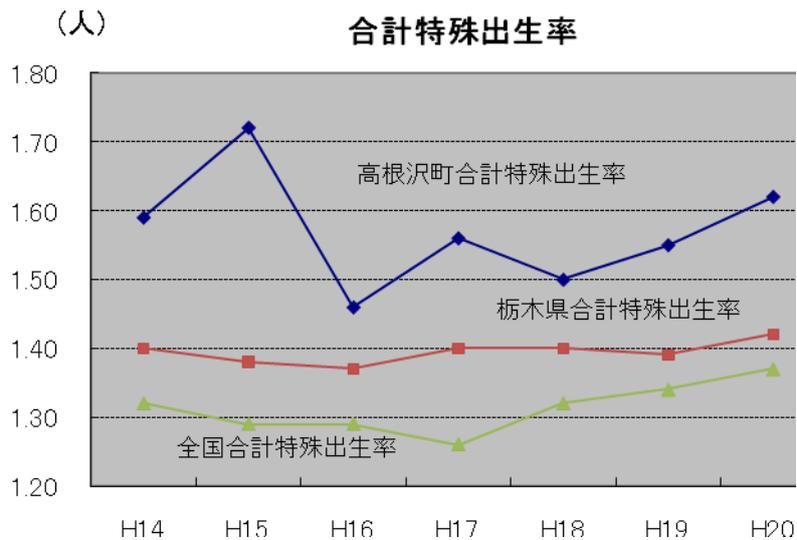
急激に変化した社会増減に対し、人口減少が微減で推移すると推計された背景には、現在の出生率や合計特殊出生率が、【表5】、【表6】のとおり全国平均を上回り、県内上位の状況（※）であることなどが要因としてあげられます。

※平成18年：3位、平成19年：1位、平成20年：3位

【表5】



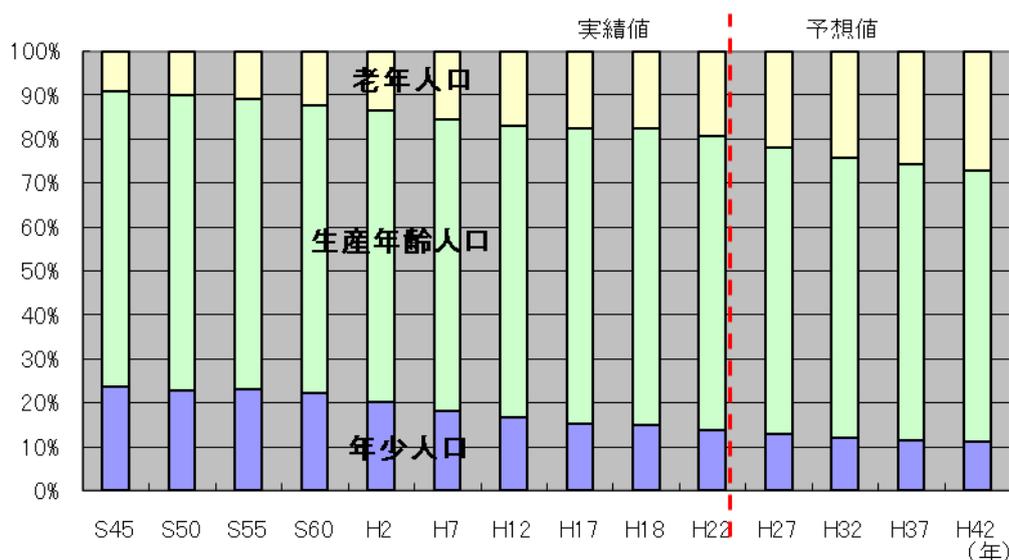
【表6】



本町の人口を、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）の3区分の割合でみると、【表7】のとおりとなりました。

老年人口（65歳以上）については、全国的には平成25年（2013年）にも、全体に占める割合が25%に達すると予測されていますが、同時点での本町の老年人口は20.3%で、25%に達するのはその10年後の平成35年（2023年）という結果となりました。

【表7】



4 将来世帯の推計

(1) 1世帯あたりの世帯人数の推計

国勢調査人口、住民基本台帳人口ともに、本町の1世帯あたりの世帯人数は減少しています。この動きは今後も継続し、1世帯あたりの世帯人数は減少していくことが推測されます。

◆ 国勢調査人口による本町の1世帯人数

年次	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
世帯人員	4.17	4.12	3.68	3.41	3.09	2.82

◆ 住民基本台帳人口による本町の1世帯人数

年次	H16	H17	H18	H19	H20	H21
世帯人員	2.98	2.93	2.88	2.82	2.78	2.75

国立社会問題・人口問題研究所が平成20年3月に行った、平成17年国勢調査に基づいた日本の将来世帯数予測においても、今後も全国的に、核家族化は継続すると推測されています。

◆ 日本の将来世帯数予測

年次	H17	H22	H27	H32	H37	H42
世帯人数	2.56	2.47	2.42	2.36	2.31	2.27

※日本の世帯数の将来推計（2008年3月推計：国立社会保障・人口問題研究所）

本町の平成21年住民基本台帳による1世帯あたりの世帯人員数は、2.751人／戸であり、この数値に将来世帯数予測の逓減率を乗じて、本町の1世帯あたりの将来世帯人員数を求めました。

◆本町の平均世帯人数の予測

	全国推計値 世帯数 (千戸)	全国推計値 世帯人数 (千人)	全国推計値 平均世帯人数	全国推計値 平均世帯人数 逓減率	高根沢町 平均世帯人数 推計
平成21年	50,093	124,765	2.49	1.000000	2.751
平成22年	50,287	124,460	2.47	0.991968	2.729
平成27年	50,600	122,231	2.42	0.979757	2.674
平成32年	50,441	119,039	2.36	0.975207	2.608
平成37年	49,837	115,119	2.31	0.978814	2.553
平成42年	48,802	110,637	2.27	0.982684	2.509

(2) 将来世帯数の推計

本町の将来人口を、1世帯あたりの世帯人数で除して、将来の世帯数を求めました。

◆本町の将来世帯数推計

	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年
人口	30,439人	29,762人	28,849人	27,805人
世帯人員	2.674人／戸	2.608人／戸	2.553人／戸	2.509人／戸
世帯数	11,383戸	11,411戸	11,300戸	11,082戸